

などの取り組みを継続するとともに、施設が存在が一目でわかるようビル壁面や函館駅前広場の公衆トイレ壁面に看板を設置することとしている。

また、施設における集客策としては定期的な企画展の開催や、年齢や時間帯などターゲットを絞ったワークショップを充実させるほか、既存の機器に利用者がより能動的な体験ができる新たな機能を付加させることで、施設の魅力向上に努め、利用者拡大につなげていきたい。

委員間の協議

議案第1号

○グリーンプラザ整備事業費
整備することによって、大門地区あるいは商店街を訪れた方に親しみでもらえるような場所づくりということが良いと思う。

様々な仕掛けなどトータル的にも考えており、キッズプラザとともに、小さいお子さんの行くところがまた一つふえるということを確認できた。

○食の産業化推進費

課題などを次の美食フェスタ開催に生かしていくという展望であり、新年度の予算執行あるいはその先に期待を示してよいのかなと思っ受け止めた。

○はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ関係経費

コンテンツの追加・維持、メンテナンス等に経費はかかるが、中心市街地活性化に向けた取り組みということとらえている。

中心市街地活性化の取り組みが生かされるよう今後も取り組んでほしい。などの理由で賛成。

民生分科会

議案18件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 平成29年度函館市一般会計予算(民生分科会関係部分)

○子ども会議関係経費

○性暴力被害者支援関係経費

・事業の内容など

議案第41号 函館市奨学金支給条例の制定

・事業の内容など

主要理事者の説明

議案第1号

○子ども会議関係経費

本事業は、函館市子ども条例に基づき、子どもが、子どもに関係する施策はもとより、まちづくりに関して意見を表明し、社会参加する場として設置するものであり、小学5年生から高校3年生までを対象に募集し、会議では、市内大学の協力のもとグループワークを行い、取りまとめた意見等の発表と、市長との懇談の場の設定を考えている。

○性暴力被害者支援関係経費

本事業は、国の調査において、性暴力の被害者が警察に連絡・相談する割合がわずか4.3%になっているなど、被害の潜在化が明らかになってきていることから、性暴力被害の防止や被害者支援の仕組みを構築するため、関係機関との連携のもと、市を事務局とした「函館性暴力被害防止対策協議会」を設立し、地域における被害者支援体制を推進するとともに、国が定めている「犯罪被害者週間」に合わせて、市民への周知・啓発を図っていきたい。

議案第41号 函館市奨学金支給条例の制定

本事業は、本市にゆかりの深い、戸田中央医科グループ会長の「中村隆俊氏」からの寄附金1億円を財源とし、市民に扶養されている、健康かつ学業成績優秀で、家庭の経済状況が厳しい高校生が、4年制以上の大学に進学する場合に申請の対象としており、選考された場合には、正規の修業年限を限度に、月額3万円、入学時に10万円の奨学金を支給し、対象人数は、年間8名を想定している。また、基金の残高が無くなった場合は、事業を終了する。

委員間の協議

議案第1号

○子ども会議関係経費

子ども条例に基づいた、子どもの

意見を聞くはじめての会議ということで、非常に画期的で期待をしており、函館のまちづくりに関して発言する機会となり、市長とも懇談するというところで、大変意味のある取り組みである。

○性暴力被害者支援関係経費

来年度から、はじめて性暴力被害者に特化して関係機関が連携した協議会を設置するというところで、これからの被害防止への抑制になることを期待する。

議案第41号 函館市奨学金支給条例の制定

給付型という制度を、函館市が先駆けて取り組み、非常に価値のある事業である。

基金残高が無くなり次第、事業を終了するというのではなく、いつまでも事業を続け、この度の寄附者である中村氏の思いを繋いでほしい。などの理由で賛成。

